

<p>【イベント名】 第4回 アジア超音波内視鏡テレカンファレンス</p>	<p>【概要】 第4回のアジア超音波内視鏡テレカンファレンスが開催された。本カンファレンスの目的は胆膵疾患に対する超音波内視鏡(EUS)関連手技やその有用性を共有することである。今回は九州大学とアジア各国の施設が参加した。新たに台湾大学とミャンマーの中核施設が加わった。チョーライ病院とインドネシア大学から腹部リンパ節腫大、結核性病変に対するEUS-FNAの有用性が報告され、東南アジア地域の現状・情報共有に有意義であった。</p>
<p>【期日】 2020.02.13</p>	
<p>【会場】 九州大学病院 (日本), 北九州市立 医療センター (日本), マラヤ大学 (マレーシア), インドネシア大学 (インドネシア), チョーライ病院 (ベトナム), ティンガンジュン サン・ピュア総合病院 (ミャンマー), マンダレー総合病院 (ミャンマー), 国立台湾大学 (台湾)</p>	
	
<p>九州大学病院の様子。</p>	<p>モニタに映し出される接続施設。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>提示された超音波内視鏡のスライド。</p>	<p>ティンガンジュン サン・ピュア総合病院の様子。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>インドネシア大学の様子。</p>	<p>チョーライ病院の様子。</p>
<p>撮影場所：インドネシア大学</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>